MODELLISTA

MSD41－60012/13
フロントスポイラー

取付・取扱要領書

この度は MODELLISTA フロントスポイラーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取り付け、取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取り付け前に必ずお読みのうえ、正しい取り付け、取り扱いを実施してください。

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■ 品番・適合車種

品　番	塗装色	適合車種	備 考
MSD41-60012-A0	ﾎﾜｲﾄﾉｰｳﾞｧｶﾞﾗｽﾌﾚｰｸ(083)	LX	
MSD41-60012-A1	ｿﾆｯｸｸｫｰﾂ(085)		
MSD41-60012-C0	ﾌﾞﾗｯｸ(202)		
MSD41-60012-C1	ｸﾞﾗﾌｧｲﾄﾌﾞﾗｯｸｶﾞﾗｽﾌﾚｰｸ(223)		
MSD41-60013-NP	未塗装品		

・最新の適合情報は MODELLISTA カタログサイトをご覧ください。https://www.modellista.co.jp/

■ 構成部品

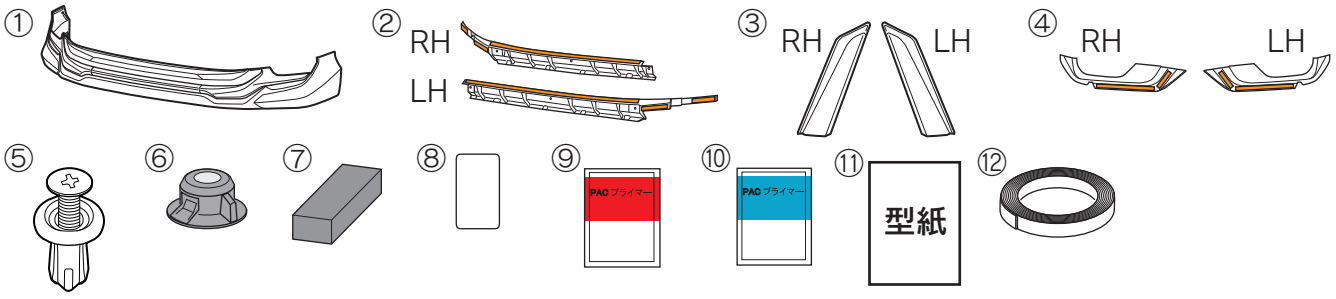
No.	部品名	品番	数量	備考
①	フロントスポイラー		1	
②	CTR リテーナー (RH/LH)		各1	
③	UPR メッキパーツ (RH/LH)		各1	
④	バンパーサイドパーツ (RH/LH)		各1	
⑤	クリップ		7	
⑥	クリップナット		2	
⑦	ルシーラー		2	t5.0×w10 L=35
⑧	シム		1	t=1.0
⑨	PAC プライマー（赤袋）	08867-00250	1	N210NT
⑩	PAC プライマー（青袋）	08867-00230	1	K-500
⑪	型紙		1	
⑫	両面テープ		1	t0.8×w4×L=3000

以下、MSD41-60013-NP（未塗装品セット）のみに同梱

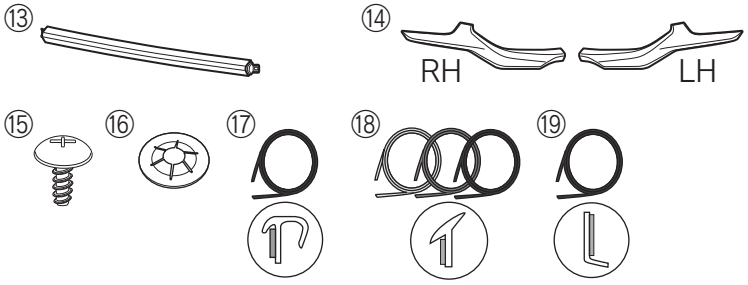
No.	部品名	品番	数量	備考
⑬	CTR メッキパーツ		1	
⑭	サイドメッキパーツ（RH/LH）		各1	
⑮	タッピングスクリュー		3	
⑯	丸型スピードナット		2	
⑰	モール（ヨ型）		1	ブラック L=2000mm
⑱	モール（イ型）		各1	ブラック L=270mm グレー L=270mm ライトグレー L=270mm
⑲	モール（L 型）		1	ブラック L=200mm

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



以下、MSD41-60013-NP（未塗装品セット）のみに同梱



モール（イ型）⑱推奨使用色

塗装色（色記号）	モール色
ﾎﾜｲﾄﾉｰｳﾞｧｶﾞﾗｽﾌﾚｰｸ(083)	ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ
ｿﾆｯｸｸｫｰﾂ(085)	ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ
ｿﾆｯｸﾁﾀﾆｳﾑ(1J7)	ﾌﾞﾗｯｸ
ﾏﾝｶﾞﾝﾗｽﾀｰ(1K2)	ﾌﾞﾗｯｸ
ﾌﾞﾗｯｸ(202)	ﾌﾞﾗｯｸ
ｸﾞﾗﾌｧｲﾄﾌﾞﾗｯｸｶﾞﾗｽﾌﾚｰｸ（223）	ﾌﾞﾗｯｸ
ﾃﾚｰﾝｶｰｷﾏｲｶﾒﾀﾘｯｸ(6X4)	ｸﾞﾚｰ

取付上のご注意（取付作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。

⚠警告	この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。
⚠注意	注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。
アドバイス	スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠ やってはいけないこと　　❗ 必ず行っていただくこと

⚠警告

⃠ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。

❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。

❗ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠注意

❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

❗ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、左記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。

❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。

❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。

❗ 外気温15℃未満の場合は両面テープの接着力が著しく低下します。
部品または貼り付け面を人肌程度まで加温してください。

❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。
圧着が足らないと両面テープが剥がれます。

⃠ 本商品の取り付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。
装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。

❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。

❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので60℃以下で乾燥させてください。

取り付けが終わったら

❗ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。

❗ 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ 目次

１.表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図・・・・・・・・・・・・・・・１～２
２.取付上のご注意（取付作業者の方へ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
３.目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図・・４
４.取付準備、取付要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５～１６
５.取付完了後の点検・注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
６.未塗装品の取り扱いについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７～２２
７.補修キット両面テープ貼り付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２３

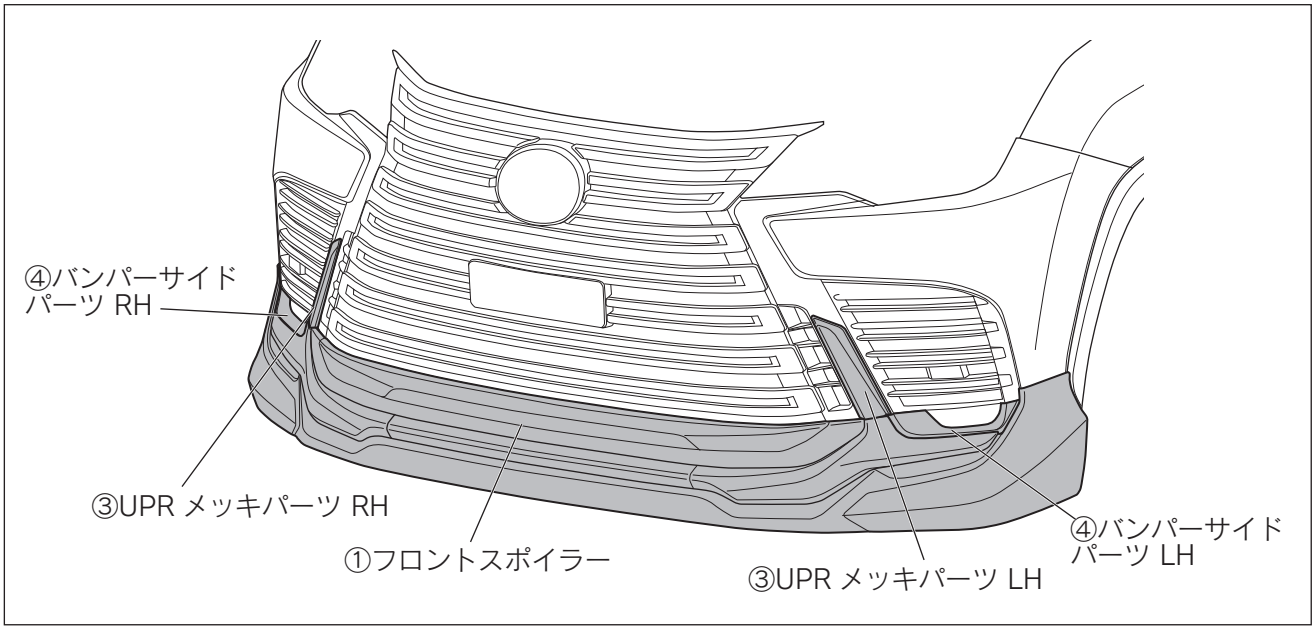
■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

・一般工具
・加工用工具（ハサミ・カッター等）
・電動ドリル（刃：３.０mm/５.０mm/６.０mm/１０.０mm）
・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・養生テープ
・イソプロピルアルコール（ＩＰＡ）・清潔なウエス

■ 保証について

本商品は、３年・６０,０００Ｋmの保証を実施致します。
（３年または６０,０００Ｋm走行時点のいずれか早い方まで）
※保証の詳細は MODELLISTA パーツカタログサイト<https://www.modellista.co.jp/>
「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図



■ 取付準備、取付要領

※本取付・取扱要領書は、主にＬＨ側を示しており、ＲＨ側も同様に行ってください。

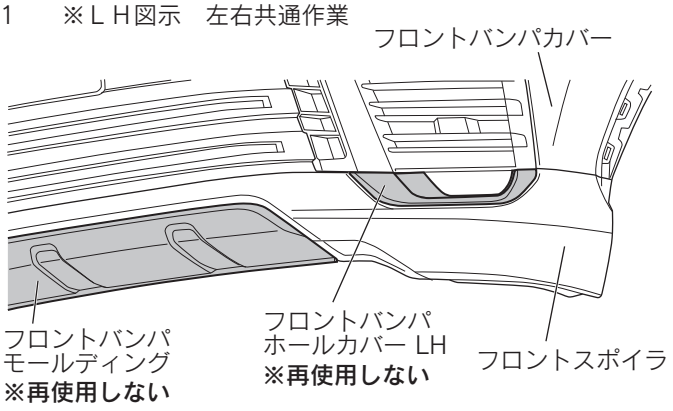
□フロントスポイラー取付準備

1. 該当車両の修理書に従い、車両フロントバンパ ASSY を取り外す。

⚠注意：取り外した車両部品、車両クリップ、車両ビス類は再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

⚠注意：フロントフェンダモールディングの両面テープは再使用できません。車両復元の際は同梱の⑫両面テープを使い、該当車両の修理書に従って両面テープの貼り付けを行ってください。

図１　※ＬＨ図示　左右共通作業

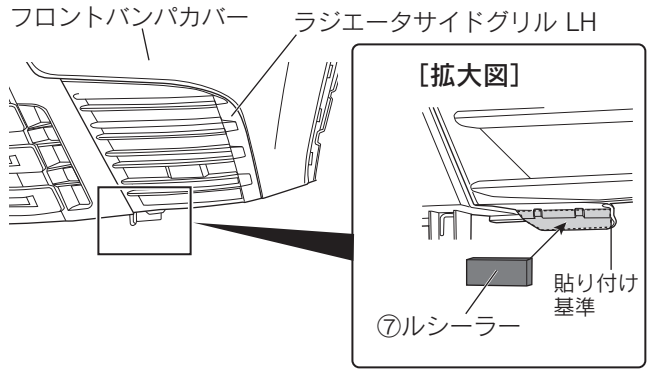


2. 図１のように該当車両の修理書に従い、フロントバンパカバーからフロントバンパモールディング、フロントバンパホールカバー、フロントスポイラを取り外す。

⚠注意：取り外した車両ビスは再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

⚠注意：取り外したフロントバンパモールディング、フロントバンパホールカバーは再使用しません。

図２　※ＬＨ図示　左右共通作業



3. 図２のようにラジエータサイドグリル下部の⑦ルシーラー貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂し、⑦ルシーラーを貼り付ける。（左右各１箇所）

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

4. 図３のように④バンパーサイドパーツ裏面のツメをフロントスポイラに差し込み、車両ビス（左右各２箇所）で固定する。

5. 図３のように該当車両の修理書に従い、フロントスポイラをフロントバンパカバーに復元する。

図３　裏面視　※ＬＨ図示　左右共通作業

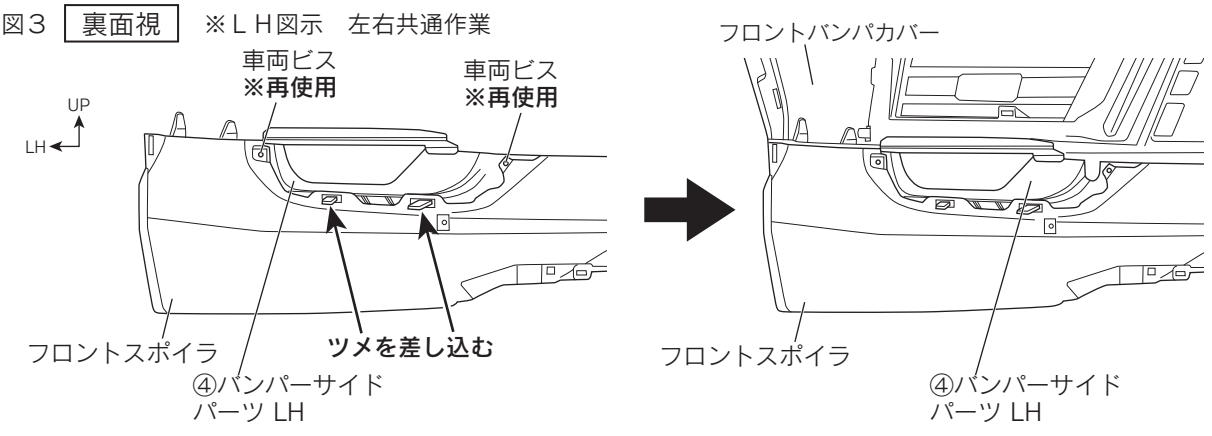
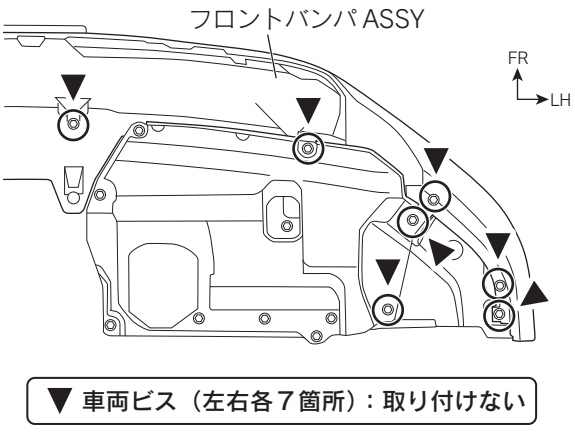
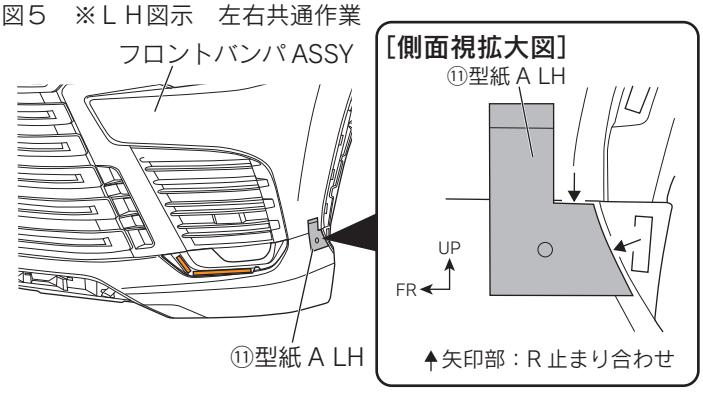


図4　下面視　※LH図示　左右共通作業



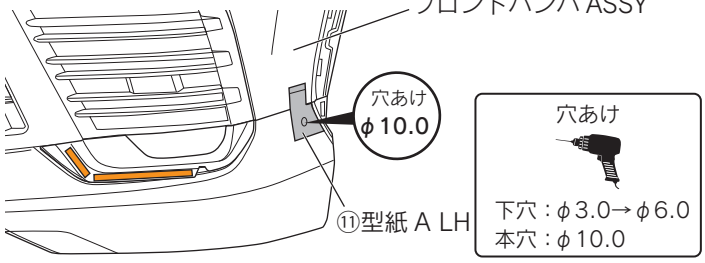
6. 図4のように該当車両の修理書に従い、フロントバンパASSYを車両に復元する。その際に下面の車両ビス（図示部左右各7箇所）はここでは取り付けない。
また、本製品取り付けの際にフロントバンパASSY裏側にアクセスするため、フロントフェンダモールディングおよびフロントフェンダスプラッシュシールドは固定せず、巻れるようにしておく。

図5　※LH図示　左右共通作業



7. 図5のようにフロントバンパASSY側面に⑪型紙Aを貼り付ける。
（左右各1箇所）

図6　※LH図示　左右共通作業



8. 図6のように⑪型紙Aの穴あけ位置に合わせて下穴φ3.0→φ6.0の順であけ、φ10.0の本穴をあける。（左右各1箇所）

アドバイス：穴あけ作業の際はドリルの刃にガムテープ等を巻き、貫通防止策を施してください。

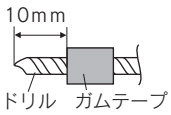
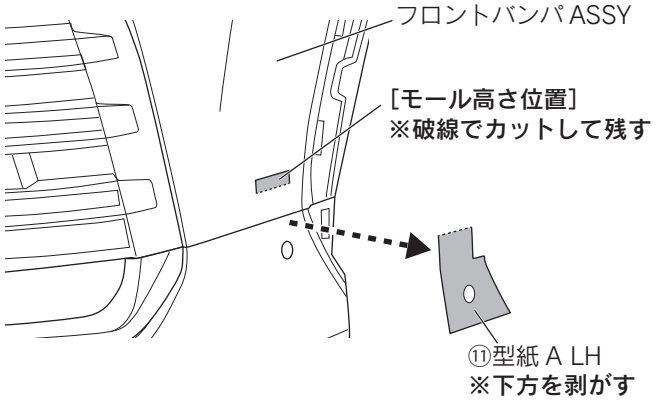
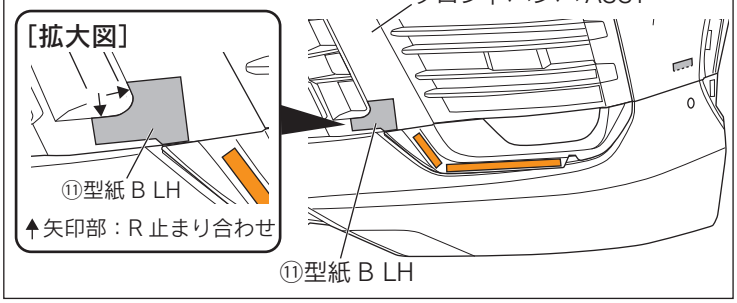


図7　※LH図示　左右共通作業



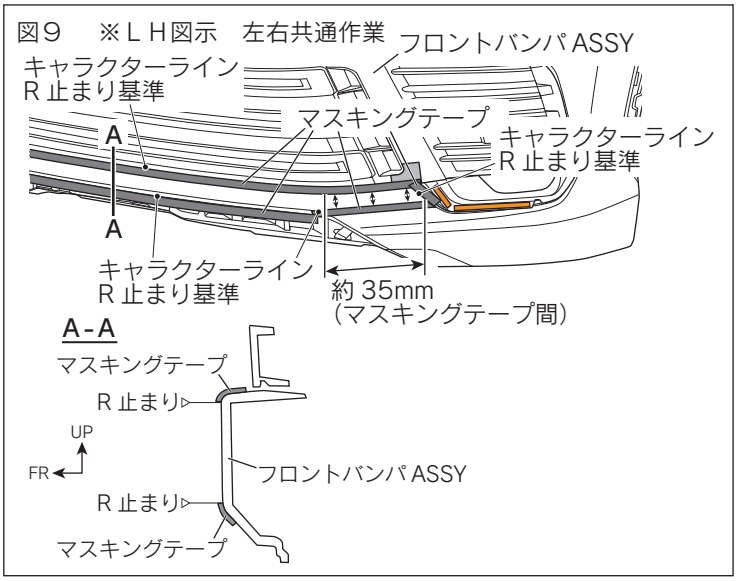
9. 図7のように⑪型紙Aの破線に沿って切り取り、モール高さ位置を残して下方を剥がし、加工穴周囲のバリを除去する。
（左右各1箇所）

図８　※ＬＨ図示　左右共通作業



10. 図８のようにフロントバンパ ASSY の左図位置に⑪型紙 B を貼り付ける。
（左右各１箇所）

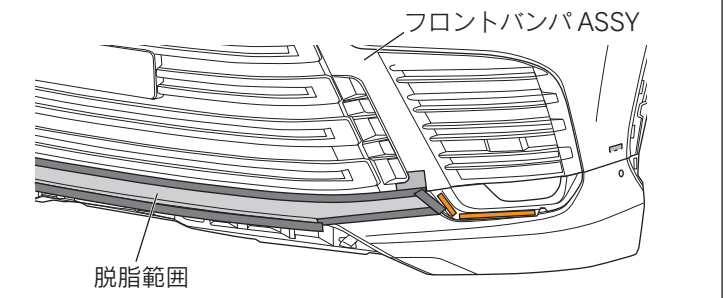
図９　※ＬＨ図示　左右共通作業



11. 図９のように②CTR リテーナーの両面テープ貼り付け部に合わせてフロントバンパ ASSY にマスキングテープを貼り付ける。

⚠注意：PAC プライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確なマスキングを行ってください。

図 10　※ＬＨ図示　左右共通作業

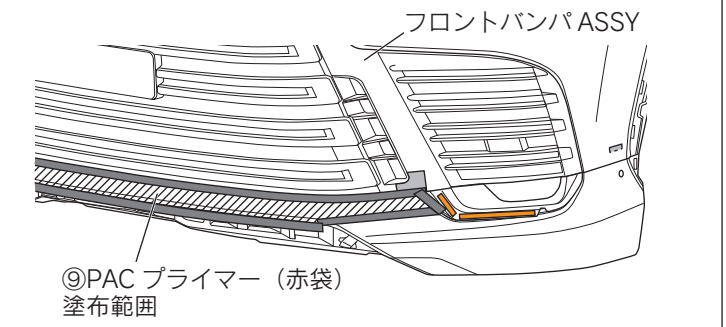


12. 図 10 のように②CTR リテーナーの両面テープ貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂する。

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

図 11　※ＬＨ図示　左右共通作業



13. 図 11 のように②CTR リテーナーの両面テープ貼り付け部（左図斜線部）に⑨PAC プライマー（赤袋）を塗布する。

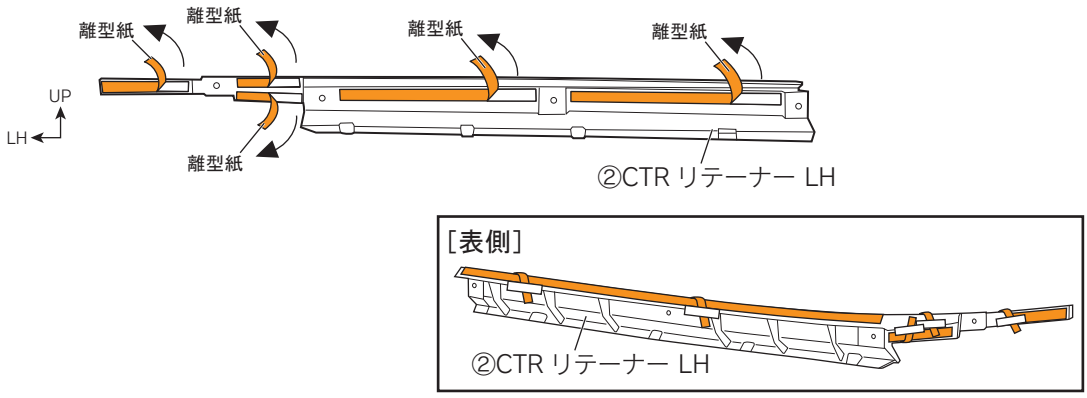
⚠注意：PAC プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

⚠注意：PAC プライマーは後の工程で再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

14. マスキングテープを剥がす。

15. 図 12 のように②CTR リテーナーの両面テープの離型紙を矢印の方向に約 30mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼り付ける。（左右各５箇所）

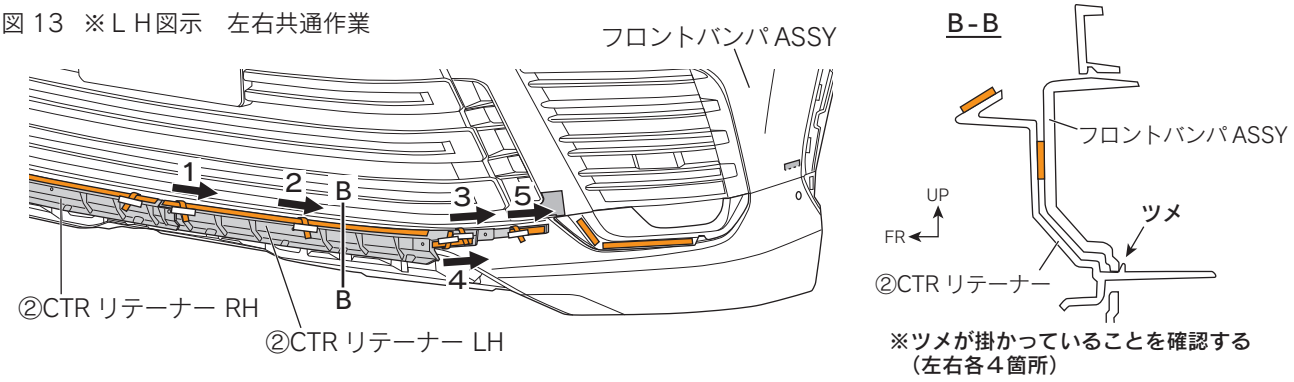
図 12　裏面視　※ＬＨ図示　左右共通作業



アドバイス：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼り付け作業前に両面テープ部及び車両の貼り付け部をドライヤー等で約４０℃程度に暖めてください。

16. 図 13 のようにフロントバンパ ASSY に②CTR リテーナーを LH、RH の順に裏面のツメを差し込みながら取り付け、両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。（左右各５箇所）

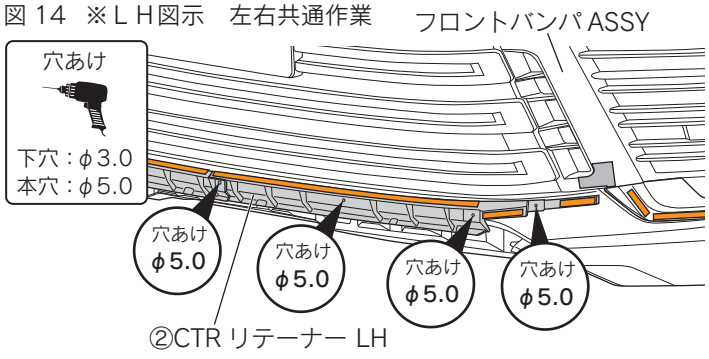
図 13　※ＬＨ図示　左右共通作業



⚠注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙や浮き・剥がれが発生するおそれがあります。

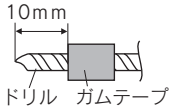
⚠注意：両面テープの圧着は、49N(5kgf) 程度の力で行ってください。

図 14　※ＬＨ図示　左右共通作業



17. 図 14 のように②CTR リテーナーの穴位置に合わせてフロントバンパ ASSY にφ3.0 の下穴をあけ、φ5.0 の本穴をあける。（中央１箇所、左右各３箇所）

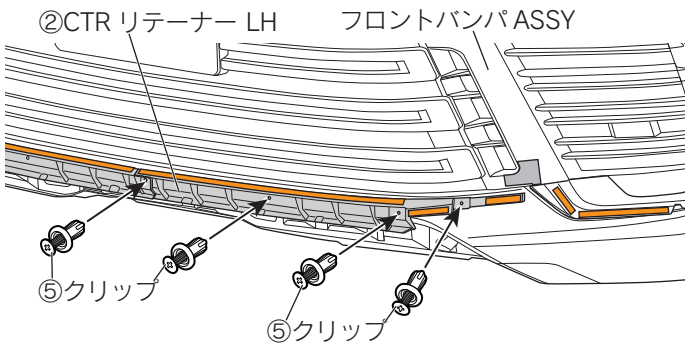
アドバイス：穴あけ作業の際はドリルの刃にガムテープ等を巻き、貫通防止策を施してください。



18. 加工穴周囲のバリを除去する。（中央１箇所、左右各３箇所）

19. ②CTR リテーナーの取り付け状態を確認し、両面テープ貼り付け部を再圧着する。

図 15　※ＬＨ図示　左右共通作業



20. 図 15 のように②CTR リテーナーの穴位置に合わせて⑤クリップを取り付ける。（中央１箇所、左右各３箇所）

21. 図 16 のようにフロントバンパ ASSY 正面および側面の⑪型紙のモール高さ位置に合わせて①フロントスポイラーをあて、取り付け位置を確認して養生テープで仮固定する。

図 16　※ＬＨ図示　左右共通作業

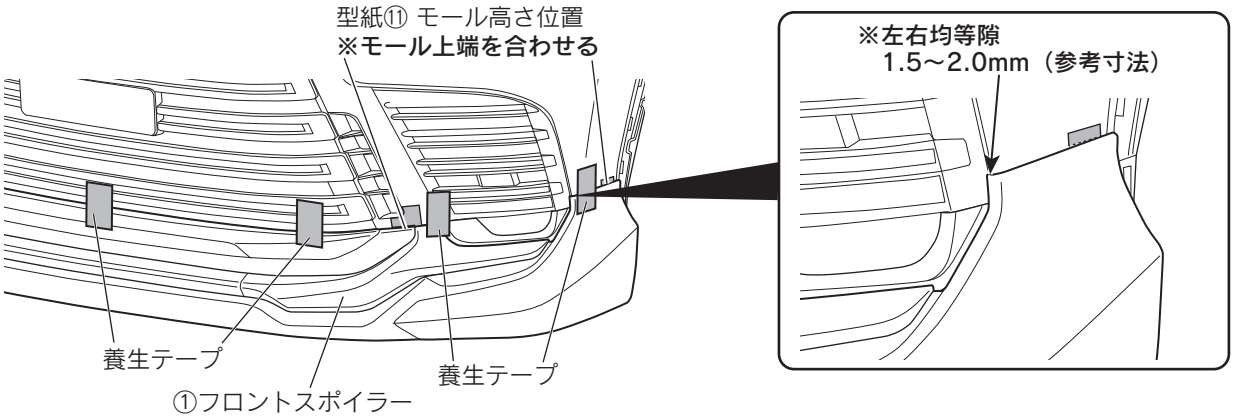
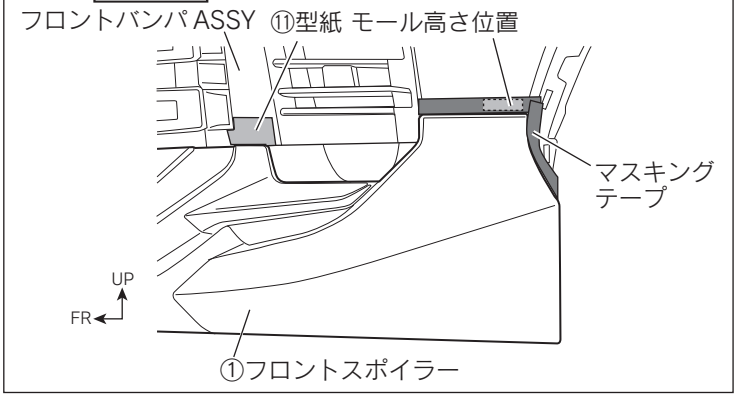


図 17　側面視　※ＬＨ図示　左右共通作業

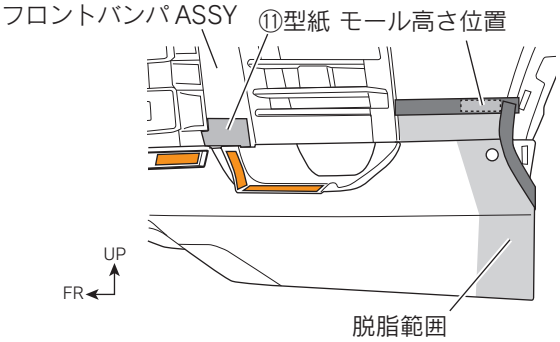


22. 図 17 のように①フロントスポイラー端末（モール貼り付け部はモール上端）に合わせてフロントバンパ ASSY 側面にマスキングテープを貼り付ける。

⚠注意：PAC プライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確なマスキングを行ってください。

23.①フロントスポイラーを取り外す。

図 18　側面視　※ＬＨ図示　左右共通作業

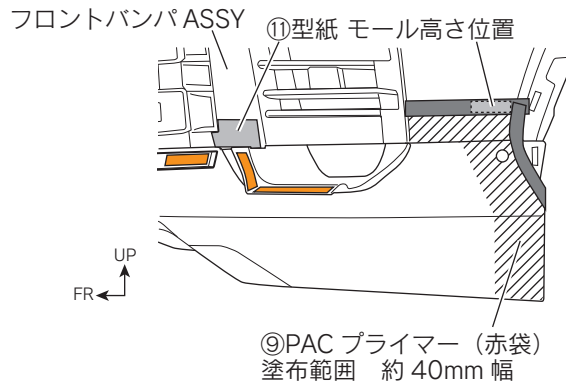


24. 図 18 のように①フロントスポイラーの両面テープ貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂する。

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

図 19 側面視 ※ＬＨ図示　左右共通作業



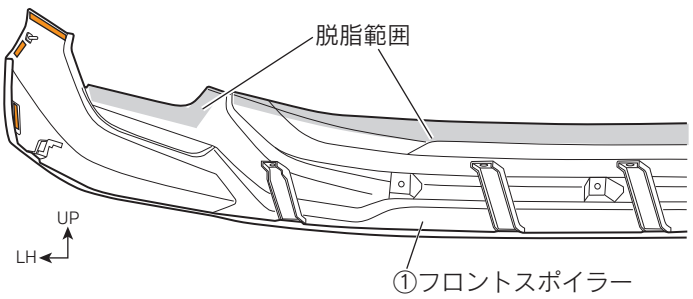
25. 図 19 のように①フロントスポイラーの両面テープ貼り付け部（左図斜線部）に⑨PAC プライマー（赤袋）を塗布する。

⚠注意：PAC プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

⚠注意：PAC プライマーは後の工程で再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

26. マスキングテープを剥がす。
※⑪型紙は剥がさないでください。

図 20 裏面視 ※ＬＨ図示　左右共通作業

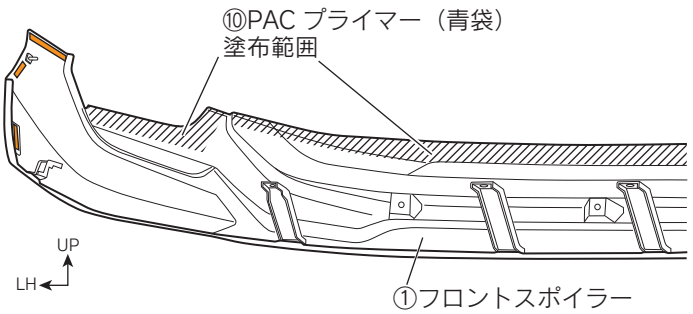


27. 図 20 のように①フロントスポイラー裏面の②CTR リテーナー、④バンパーサイドパーツの両面テープ貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂する。

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

☝アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

図 21 裏面視 ※ＬＨ図示　左右共通作業

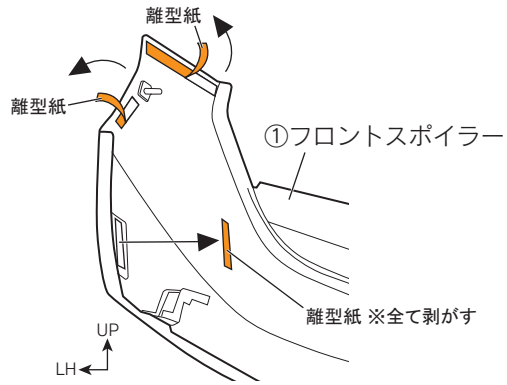


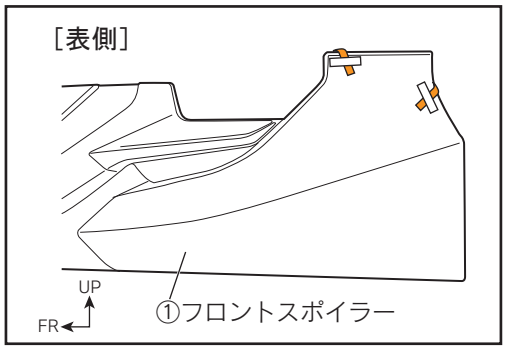
28. 図 21 のように①フロントスポイラー裏面の②CTR リテーナー、④バンパーサイドパーツの両面テープ貼り付け部（左図斜線部）に⑩PAC プライマー（青袋）を塗布する。

⚠注意：PAC プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

29. 図 22 のように①フロントスポイラーの両面テープの離型紙を矢印の方向に約 30mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼り付ける。（左右各２箇所、全剥がし左右各１箇所）

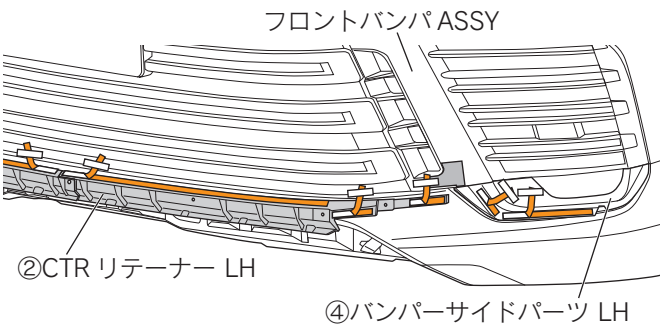
図 22 裏面視 ※ＬＨ図示　左右共通作業





アドバイス：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼り付け作業前に両面テープ部及び車両の貼り付け部をドライヤー等で約４０℃程度に温めてください。

図 23　※ＬＨ図示　左右共通作業

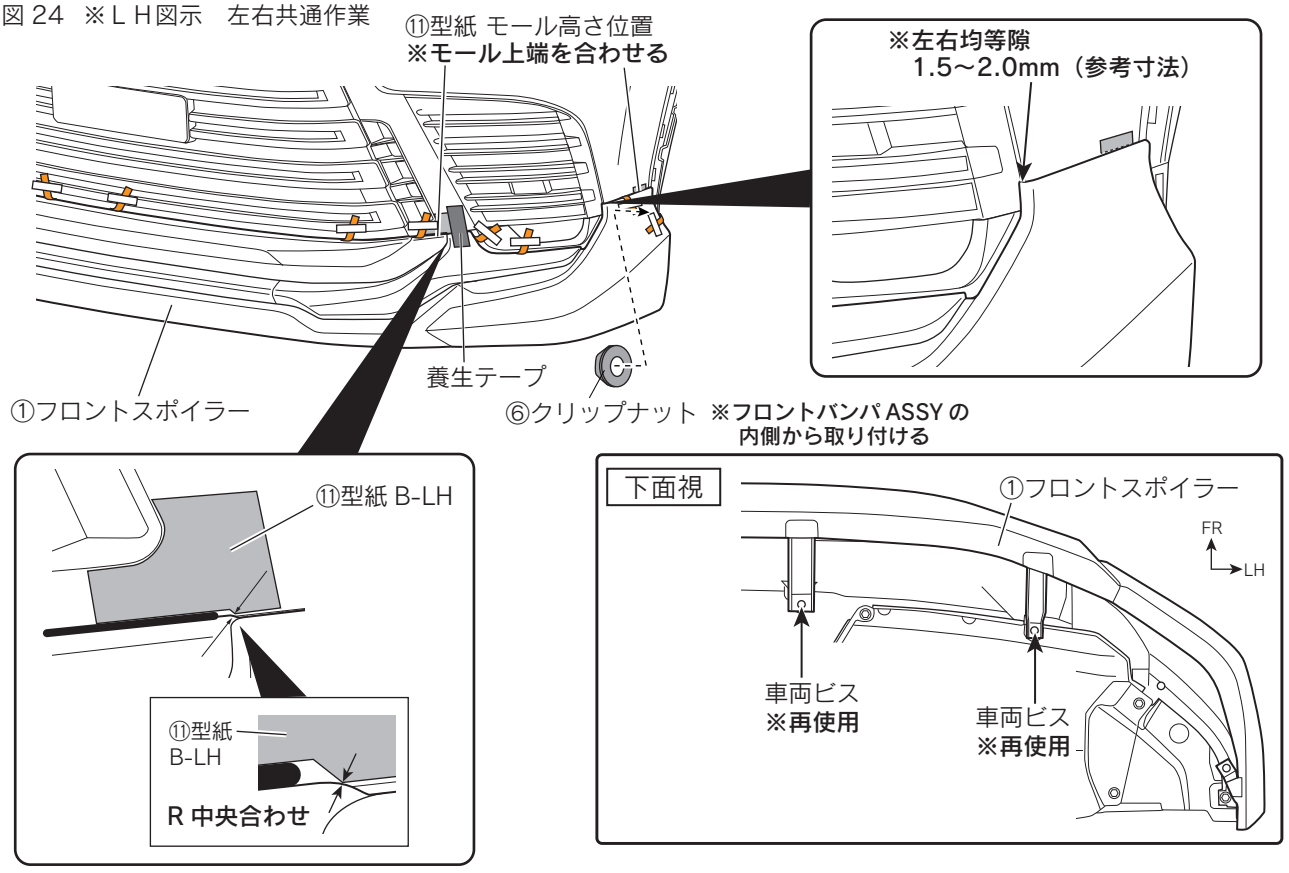


30. 図 23 のように②CTR リテーナー、④バンパーサイドパーツの両面テープの離型紙を矢印の方向に約 30mm 剥がしてマスキングテープ等で上方に貼り付ける。（左右各５箇所）

□フロントスポイラー取付要領

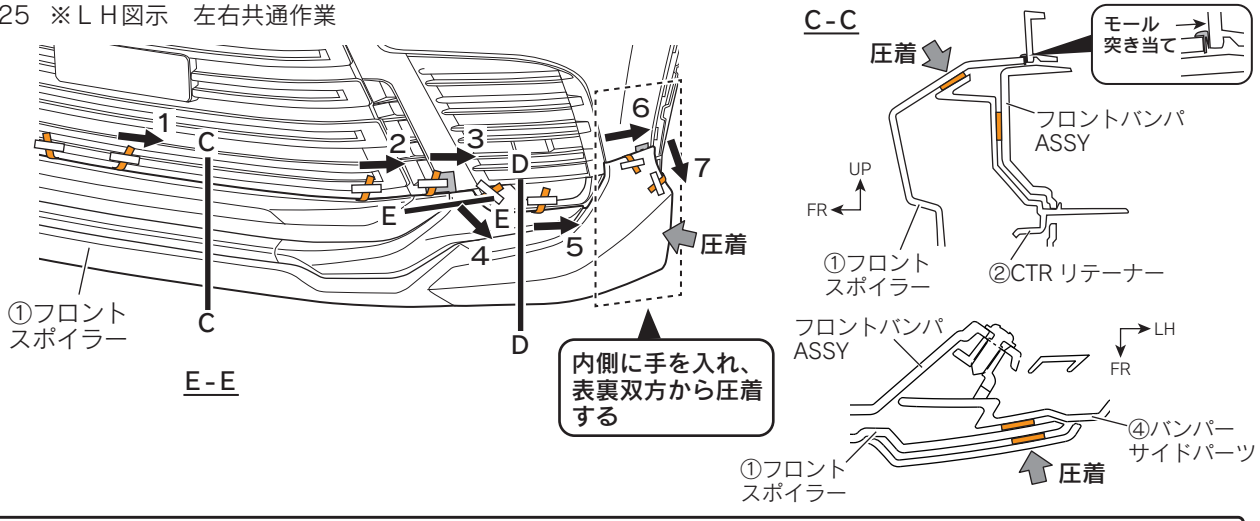
1. 図 24 のようにフロントバンパ ASSY 側面の⑪型紙のモール高さ位置に合わせて①フロントスポイラーをあて、下面中央ブラケット部を車両ビスで仮締めし（左右各２箇所）、側面をフロントバンパ ASSY 内側から⑥クリップナット（左右各１箇所）で仮締めし、サイドメッキ部を養生テープで仮固定する。

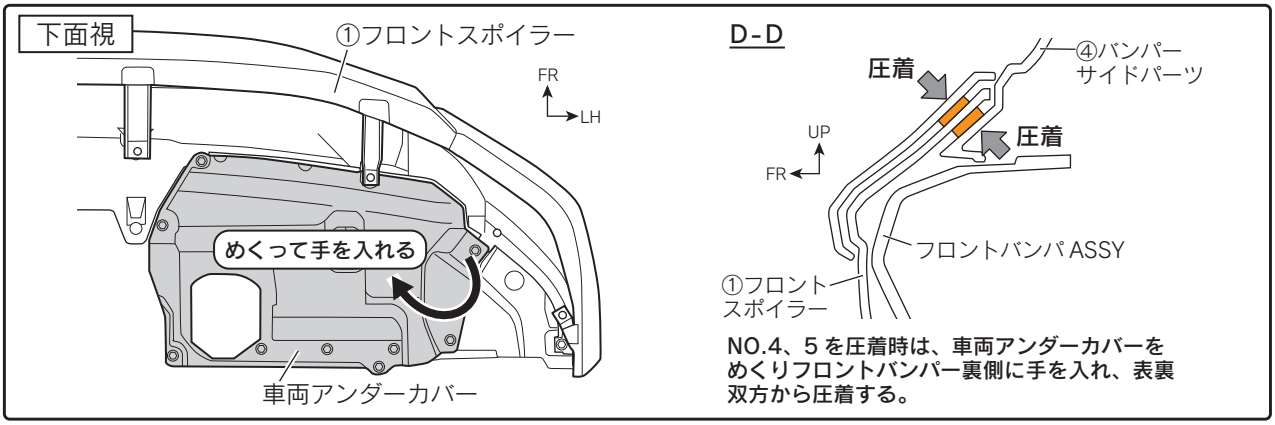
図 24　※ＬＨ図示　左右共通作業



2. 図 25 のように取り付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がし、ヨ型モールをフロントバンパ ASSY に突き当てながら貼り付け圧着する。（左右各８箇所）

図 25 ※ＬＨ図示　左右共通作業



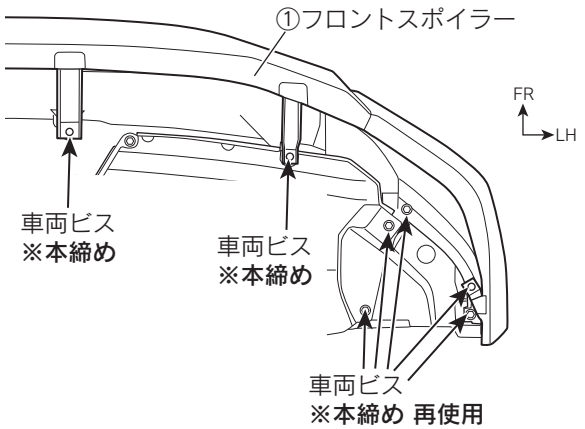


⚠注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙や浮き・剥がれが発生するおそれがあります。

⚠注意：両面テープの圧着は、49N(5kgf) 程度の力で行ってください。

3. ⑪型紙 A、B を剥がし、⑥クリップナットを本締めする。（左右各 1 箇所）

図 26 下面視 ※ＬＨ図示　左右共通作業



4. 図 26 のように①フロントスポイラー下面ブラケット部の車両ビス（左右各３箇所）を本締めし、下面図示部を車両ビスで本締めして固定（左右各４箇所）する。

5. ⑫両面テープを元の長さにカットし、該当車両の修理書に従い、フロントフェンダモールディングに貼り付ける。
■テープ長さ
前側：約 948mm、後側：約 473mm

⚠注意：フロントフェンダモールディングの両面テープは再使用できません。
車両復元の際は同梱の⑫両面テープを使い、該当車両の修理書に従って両面テープの貼り付けを行ってください。

6. 該当車両の修理書に従い、フロントフェンダスプラッシュシールドおよびフロントフェンダモールディングを復元する。

7. ①フロントスポイラーの取り付け状態を確認し、両面テープ貼り付け部を再圧着する。

8. 図 27 のように③UPR メッキパーツをフロントバンパ ASSY にあて、③UPR メッキパーツ下端と①フロントスポイラーメッキパーツ上端の間に⑧シムを挟み、一定隙になるよう取り付け位置を確認して養生テープで仮固定する。

図 27 ※ＬＨ図示　左右共通作業

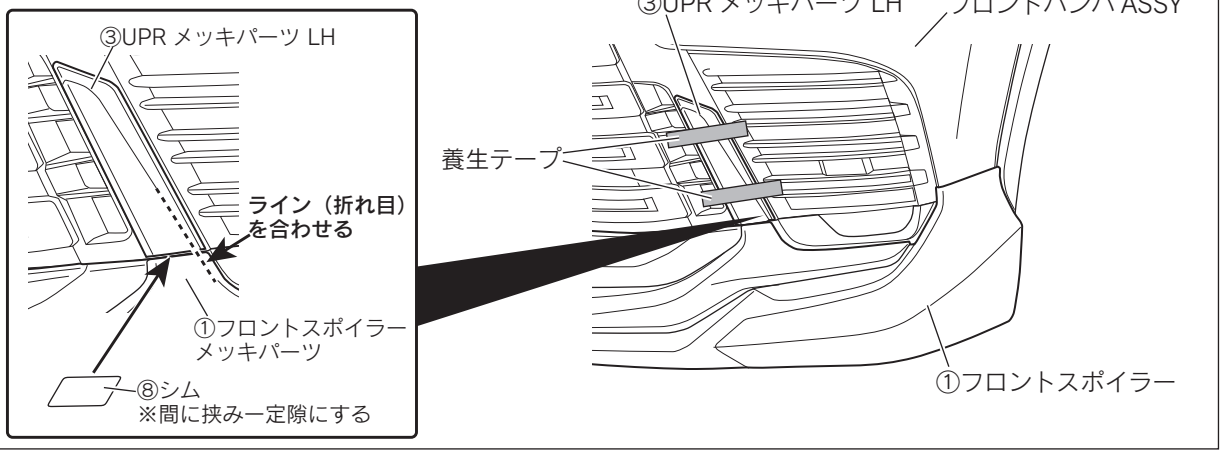
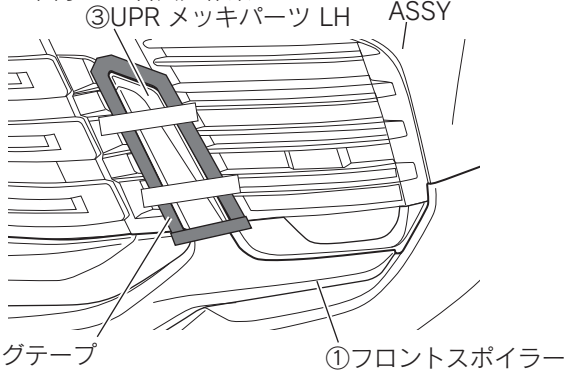


図 28 ※ＬＨ図示　左右共通作業

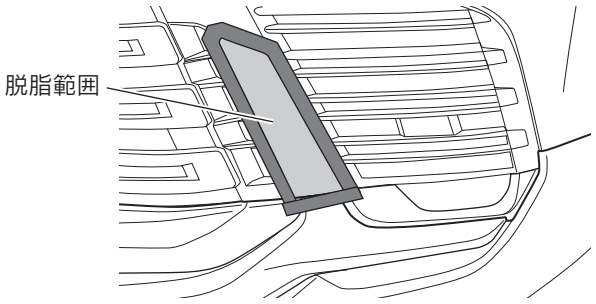


9. 図 28 のように③UPR メッキパーツ周囲端末に合わせてフロントバンパ ASSY にマスキングテープを貼り付ける。

⚠注意：PAC プライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確なマスキングを行ってください。

10. ③UPR メッキパーツを取り外す。

図 29 ※ＬＨ図示　左右共通作業

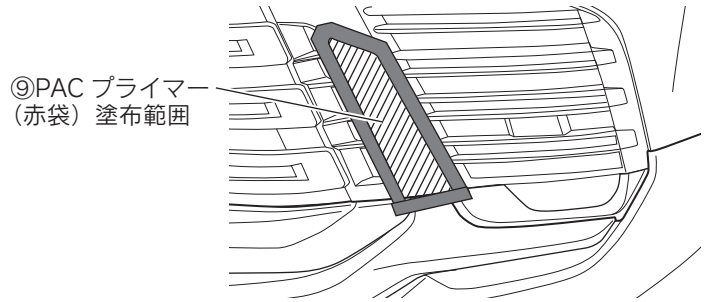


11. 図 29 のように③UPR メッキパーツの両面テープ貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂する。

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

図 30　※ＬＨ図示　左右共通作業

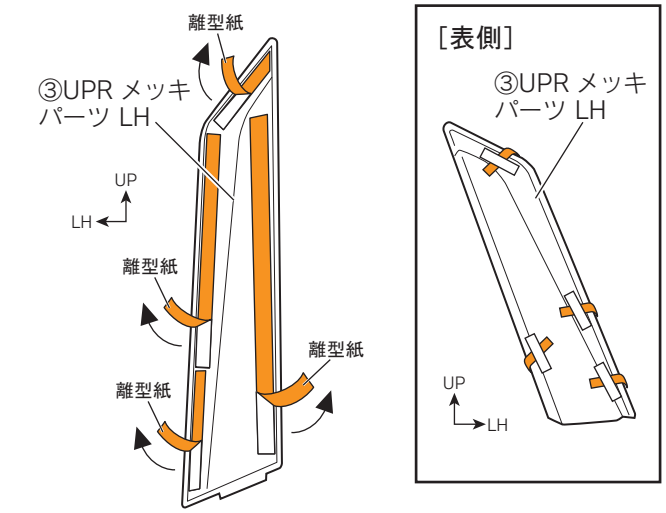


12. 図 30 のように③UPR メッキパーツの両面テープ貼り付け部（左図斜線部）に⑨PAC プライマー（赤袋）を塗布する。

⚠注意：PAC プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

13. マスキングテープを剥がす。

図 31　裏面視　※ＬＨ図示　左右共通作業

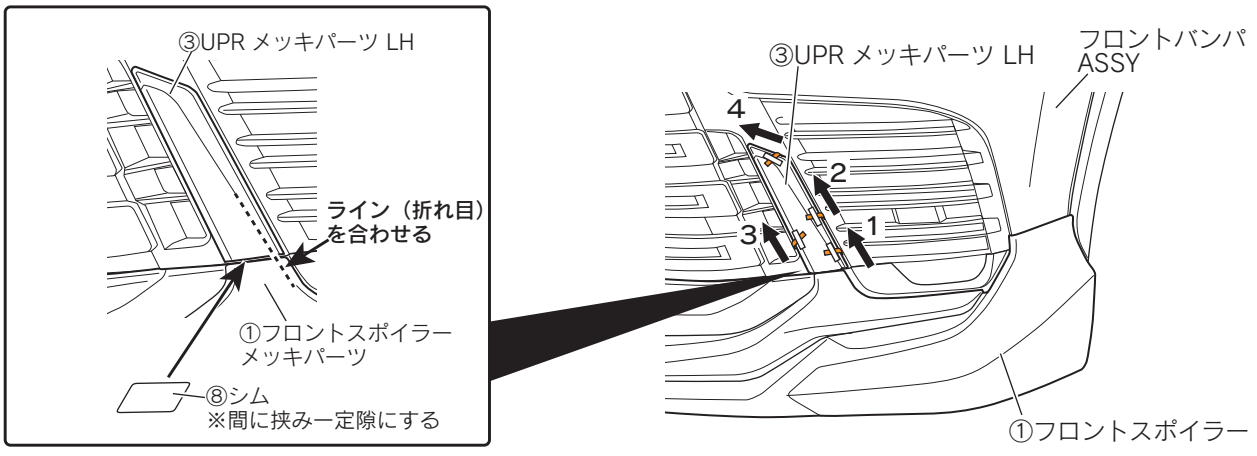


14. 図 31 のように③UPR メッキパーツの両面テープの離型紙を矢印の方向に約 30 mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼り付ける。（左右各４箇所）

アドバイス：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼り付け作業前に両面テープ部及び車両の貼り付け部をドライヤー等で約４０℃程度に温めてください。

15. 図 32 のように③UPR メッキパーツをフロントバンパ ASSY にあて、③UPR メッキパーツ下端と①フロントスポイラーメッキパーツ上端の間に⑧シムを挟み、一定隙になるよう取り付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。（左右各４箇所）

図 32　※ＬＨ図示　左右共通作業



⚠注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙や浮き・剥がれが発生するおそれがあります。

⚠注意：両面テープの圧着は、49N(5kgf) 程度の力で行ってください。

アドバイス　両面テープの接着力は安定するまで３～５時間程度必要です。
製品の取り付け後は、最低３時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。

⚠ 警告　両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。
両面テープ接着後、24 時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

16. ③UPR メッキパーツの取り付け状態を確認し、両面テープ貼り付け部を再圧着する。

■取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びフロントスポイラー廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
   該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ 未塗装品の取り扱いについて

下記は未塗装品（MSD41-60013-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行ってください。

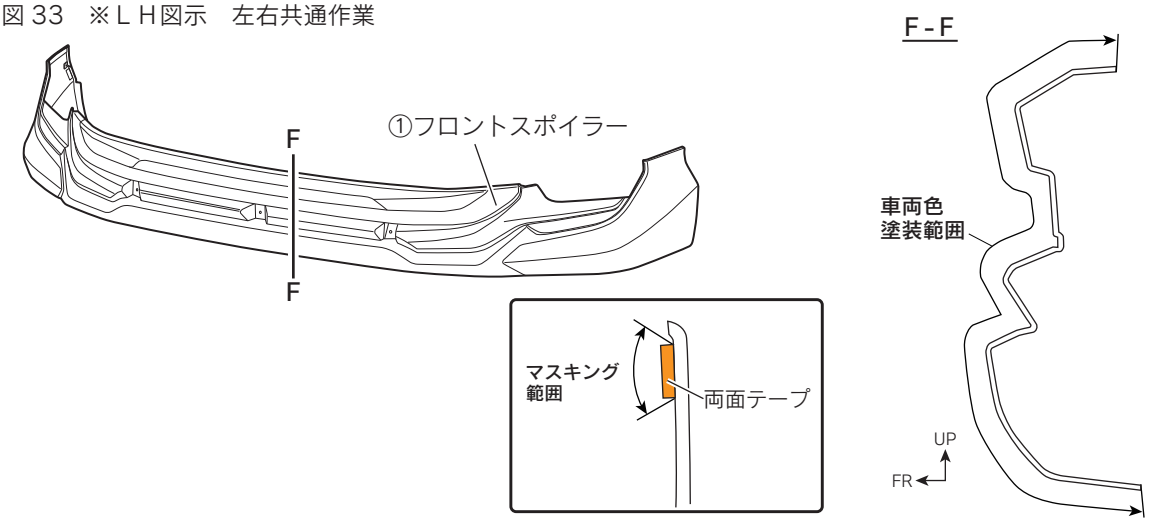
⚠注意 :本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として、足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。

※本取付・取扱要領書は、主にＬＨ側を示しており、ＲＨ側も同様に行ってください。

□ フロントスポイラーの塗装

1. ①フロントスポイラーに貼り付けてある両面テープ、M6 ボルト（スタッドボルト）、ブラケットを全面マスキングする。
2. 図 33 のように①フロントスポイラーを車両色で塗装する。

図 33　※ＬＨ図示　左右共通作業

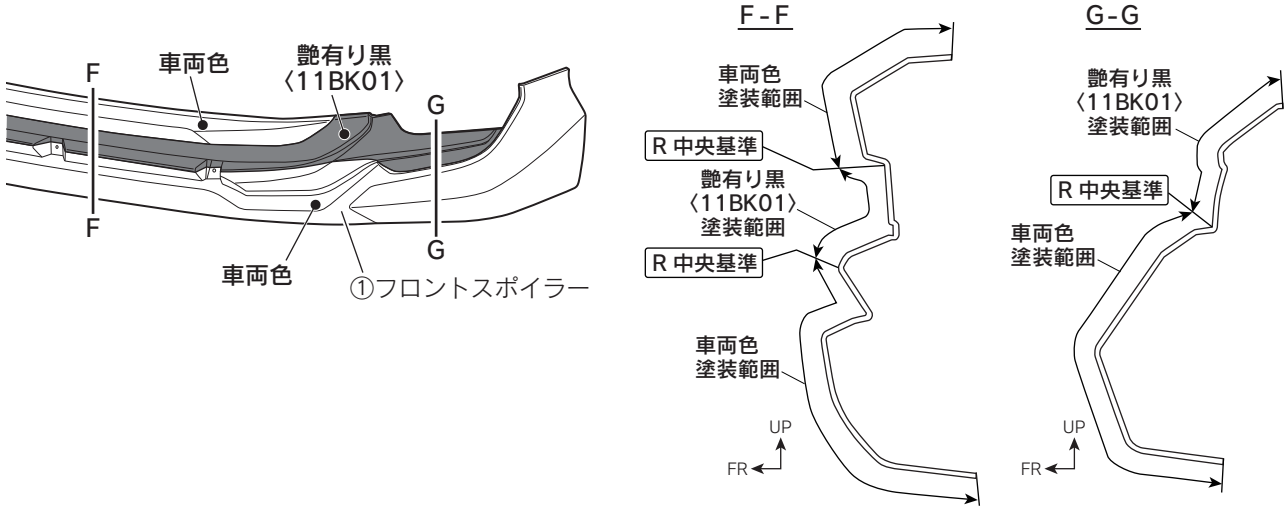


⚠注意 :本製品は〈ABS〉です。
乾燥温度を 60℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。
上塗り用の塗装にはウレタン系をご使用ください。

⚠警告 :両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

3. 図 34 のように①フロントスポイラーを艶有り黒〈11BK01〉で塗り分け塗装する。

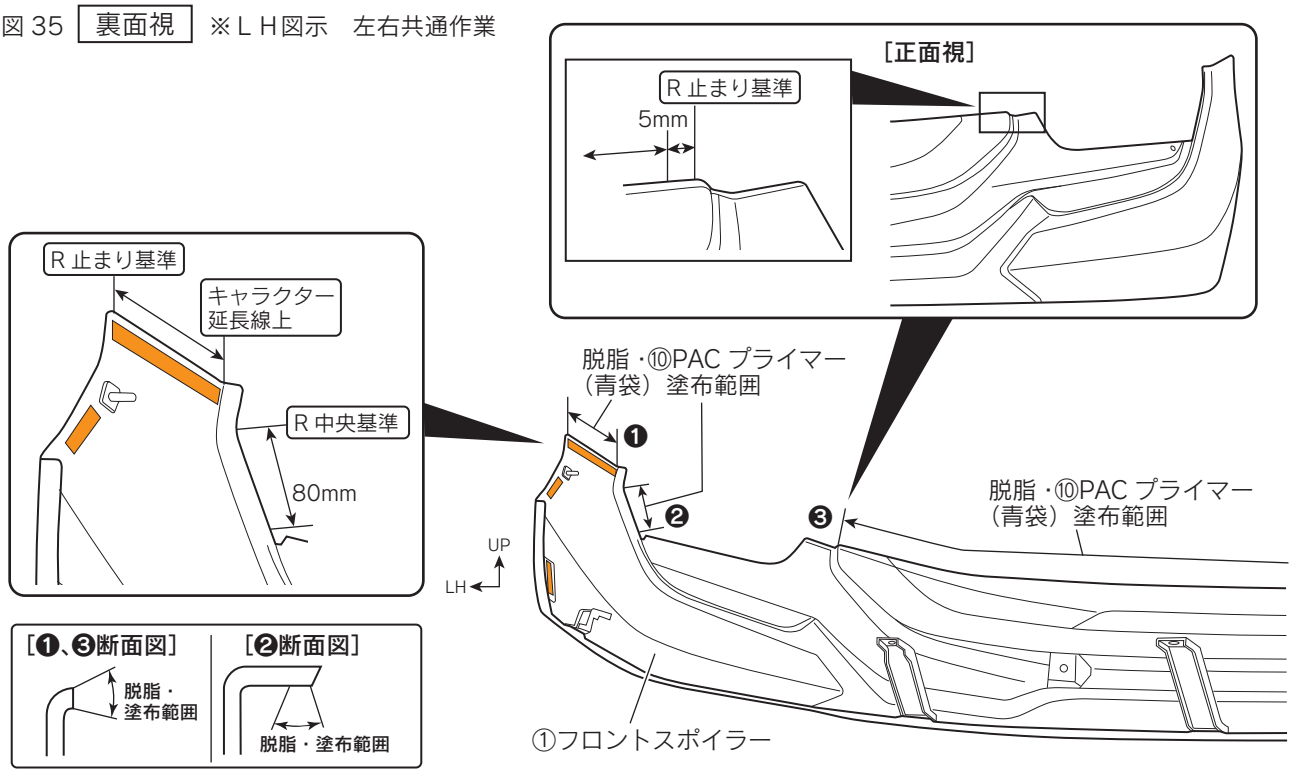
図 34　※ＬＨ図示　左右共通作業



□モールの貼り付け

1. 図 35 のように①フロントスポイラーの⑰モール（ヨ型）、⑱モール（イ型）、⑲モール（L 型）貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂し、モール貼り付け部のみ⑩PAC プライマー（青袋）を塗布する。

図 35 裏面視 ※L H図示　左右共通作業



⚠注意 :PAC プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

⚠注意 :PAC プライマーは本製品取り付け時に再使用します。
揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

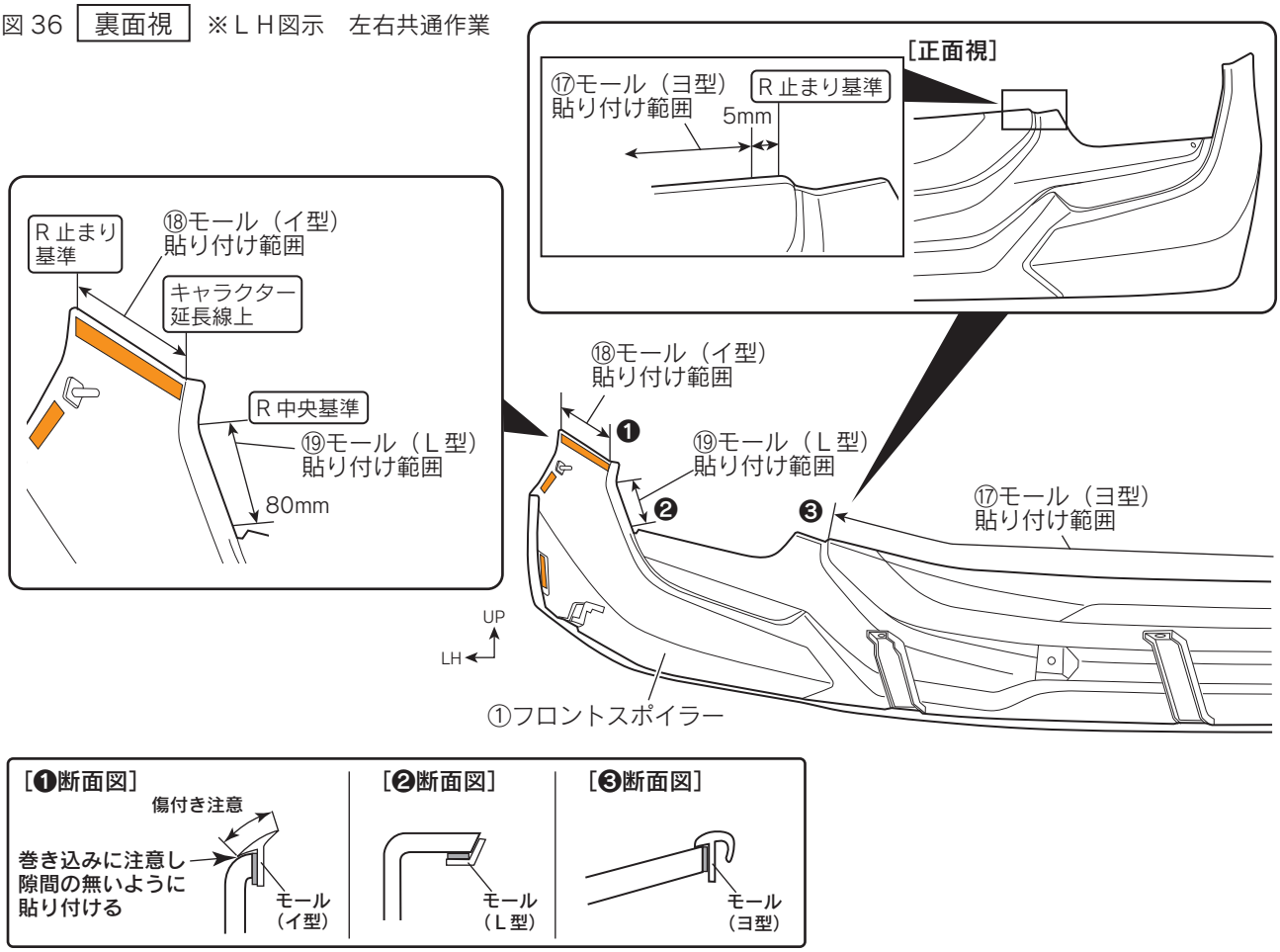
アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

⚠注意 :脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。
油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

2. 図 36 のように①フロントスポイラーの⑰モール（ヨ型）、⑱モール（イ型）、⑲モール（Ｌ型）の両面テープの離型紙を剥がしながら、貼り付け圧着する。
モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

図 36 裏面視 ※ＬＨ図示　左右共通作業



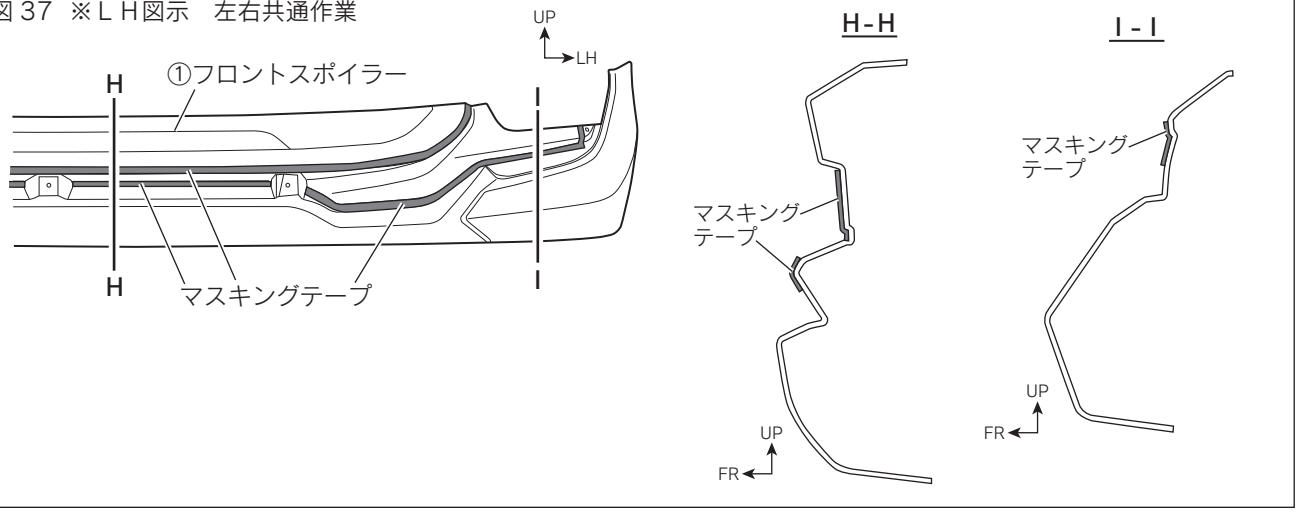
⚠注意：⑱モール（イ型）は、３色同梱されています。
塗装色に合わせてモール色を選択し貼り付けてください。

アドバイス：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼り付け作業前に両面テープ部及び貼り付け部をドライヤー等で約４０℃程度に温めてください。

□メッキパーツの取り付け

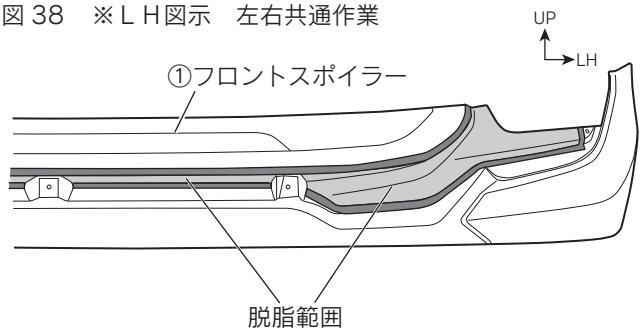
1. 図 37 のように①フロントスポイラーにマスキングテープを貼り付ける。

図 37 ※ＬＨ図示　左右共通作業



⚠注意 : PAC プライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確なマスキングを行ってください。

図 38 ※ＬＨ図示　左右共通作業

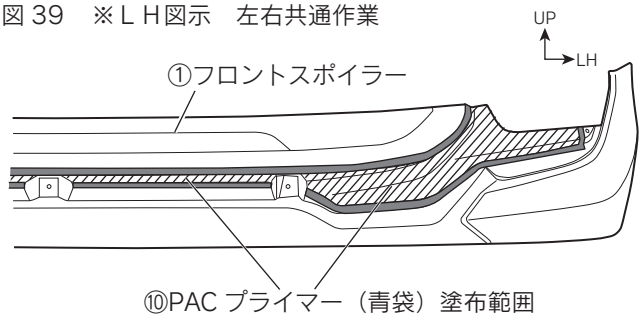


2. 図 38 のように⑬CTR メッキパーツ、⑭サイドメッキパーツの両面テープ貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂する。

⚠注意 : 脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

☝ アドバイス : 脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

図 39 ※ＬＨ図示　左右共通作業



3. 図 39 のように⑬CTR メッキパーツ、⑭サイドメッキパーツの両面テープ貼り付け部（左図斜線部）に⑩PAC プライマー（青袋）を塗布する。

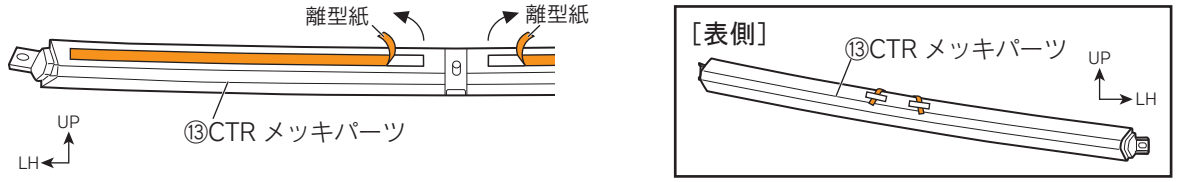
⚠注意 : PAC プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

⚠注意 : PAC プライマーは本製品取り付け時に再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

4. マスキングテープを剥がす。

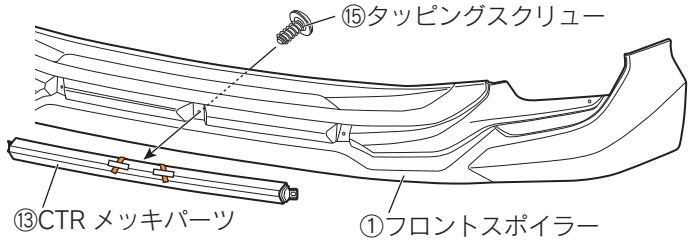
5. 図 40 のように⑬CTR メッキパーツの両面テープの離型紙を矢印の方向に約 30mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼り付ける。（２箇所）

図 40 裏面視 ※ＬＨ図示　左右共通作業



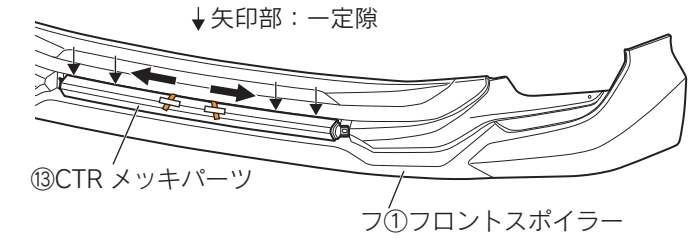
アドバイス：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼り付け作業前に両面テープ部及び貼り付け部をドライヤー等で約４０℃程度に温めてください。

図 41　※ＬＨ図示　左右共通作業



6. 図 41 のように⑬CTR メッキパーツを①フロントスポイラーにあて、裏側から⑮タッピングスクリューで仮締めする。（１箇所）

図 42　※ＬＨ図示　左右共通作業



※表裏双方から圧着してください

7. 図 42 のように取り付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ剥がしながら貼り付け圧着する。（２箇所）

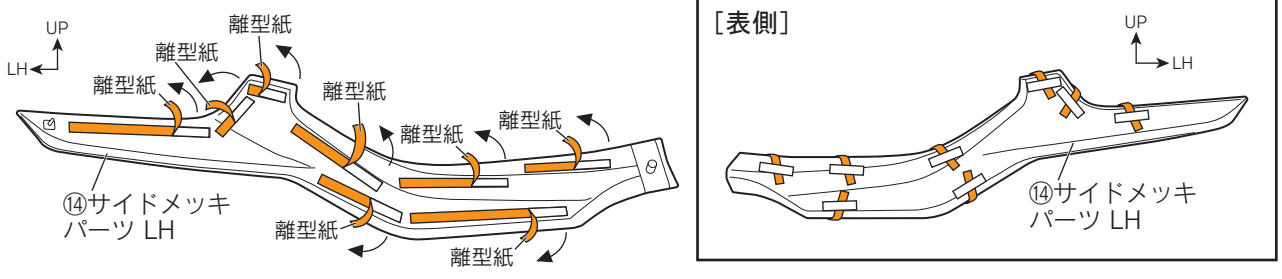
⚠注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙や浮き・剥がれが発生するおそれがあります。

⚠注意：両面テープの圧着は、49N(5kgf) 程度の力で行ってください。

8. ⑮タッピングスクリューを本締めする。（１箇所）

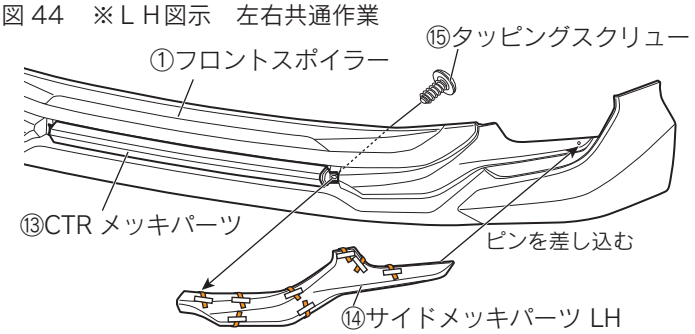
9. 図 43 のように⑭サイドメッキパーツの両面テープの離型紙を矢印の方向に約 30mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼り付ける。（左右各８箇所）

図 43 裏面視 ※ＬＨ図示　左右共通作業



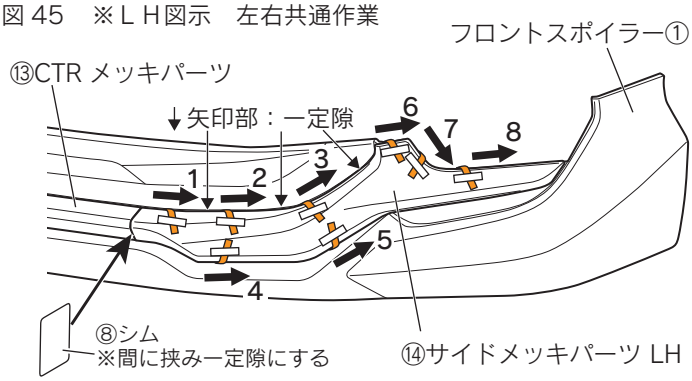
アドバイス：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼り付け作業前に両面テープ部及び貼り付け部をドライヤー等で約４０℃程度に温めてください。

図 44　※ＬＨ図示　左右共通作業



10. 図 44 のように⑭サイドメッキパーツを①フロントスポイラーにあて、裏側から⑮タッピングスクリューで仮締めする。（左右各１箇所）

図 45　※ＬＨ図示　左右共通作業



※表裏双方から圧着してください

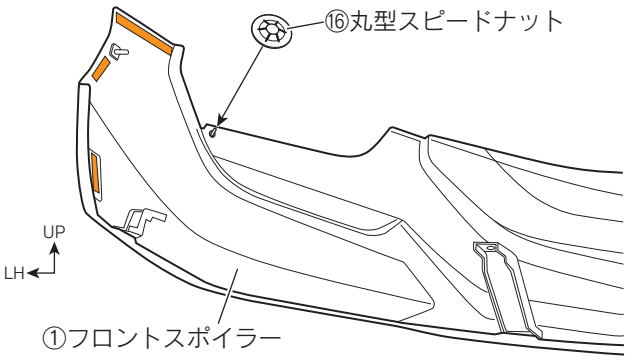
11. 図 45 のように⑭サイドメッキパーツと⑬CTR メッキパーツの間に⑧シムを挟み、一定隙になるよう取り付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。（左右各８箇所）

⚠注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙や浮き・剥がれが発生するおそれがあります。

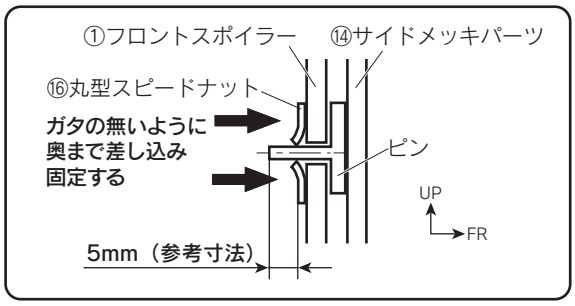
⚠注意：両面テープの圧着は、49N(5kgf) 程度の力で行ってください。

12.⑮タッピングスクリューを本締めする。（左右各１箇所）

図 46　裏面視　※ＬＨ図示　左右共通作業



13. 図 46 のように①フロントスポイラー裏側から⑭サイドメッキパーツのピンに丸型⑯スピードナットを取り付ける。（左右各１箇所）



⚠注意：⑭サイドメッキパーツと①フロントスポイラーにガタが無いように⑯丸型スピードナットを奥まで押し込んでください。⑯丸型スピードナットが奥まで押し込まれていないと⑭サイドメッキパーツが浮く可能性があります。

アドバイス　両面テープの接着力は安定するまで３～５時間程度必要です。
製品の取り付け後は、最低３時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。

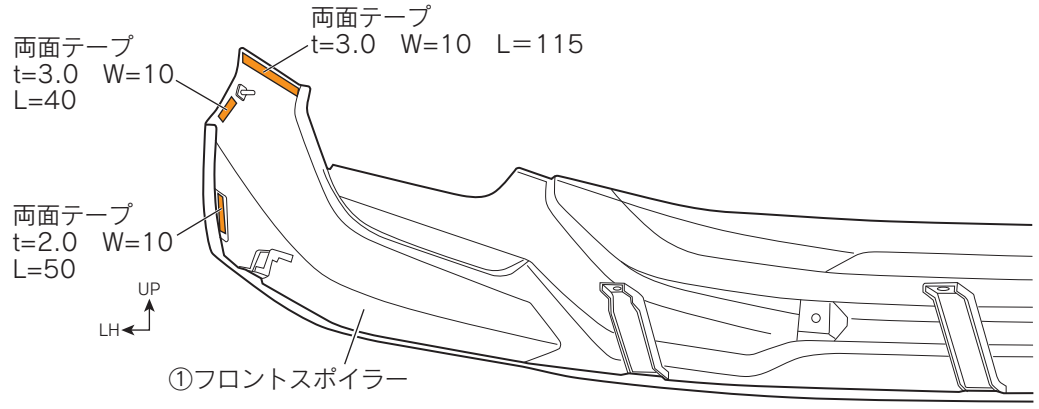
⚠ 警告　両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。
両面テープ接着後、24 時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

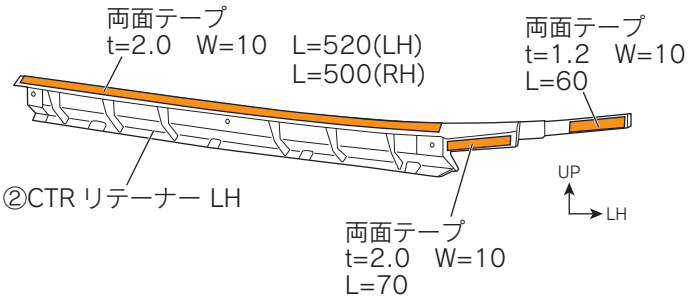
14. ⑬CTR メッキパーツ、⑭サイドメッキパーツの取り付け状態を確認し、両面テープ貼り付け部を再圧着する。

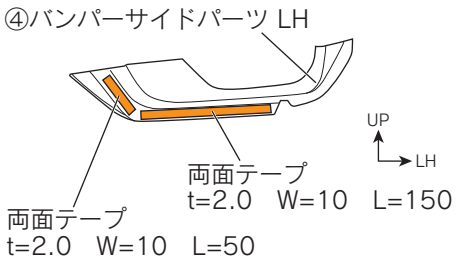
■ 補修キット両面テープ貼り付け

1. 補修キットを使用してフロントスポイラーの再取り付けを行う際は、下図を参考に両面テープを選択し貼り付ける。
   ※両面テープを貼り付ける際は、貼り付け部を脱脂し、プライマー（PAC プライマー K-500 相当）を塗布する。

裏面視　※ＬＨ図示　左右共通作業







2. 補修キットを使用してフロントスポイラーの再取り付けを行う際は、18～19 ページ「モールの貼り付け」を参照して貼り付ける。

株式会社トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
MODELLISTA 商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-1000
https://www.modellista.co.jp/

脱脂作業要領書

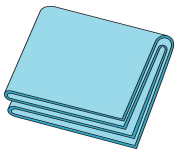
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

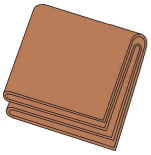
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等


水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

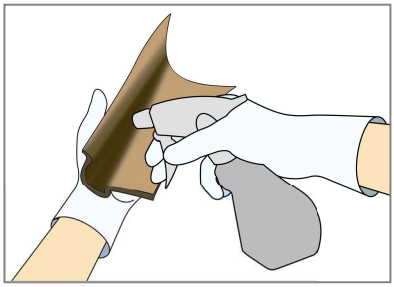

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

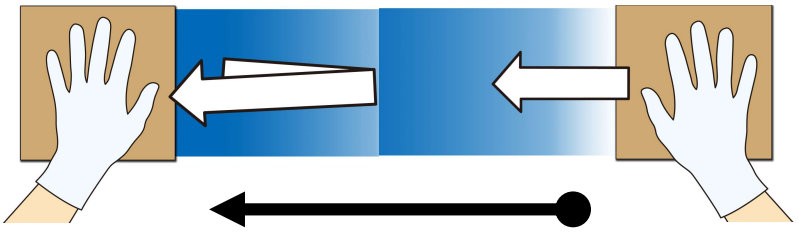


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

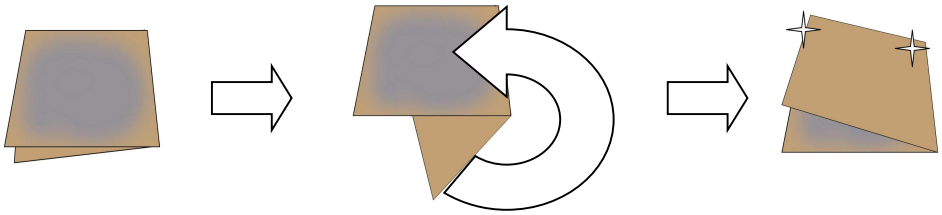
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。

脱脂作業要領書

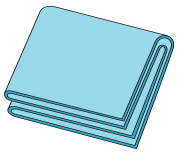
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

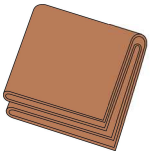
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等


水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

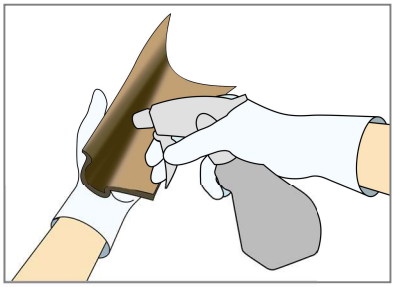

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

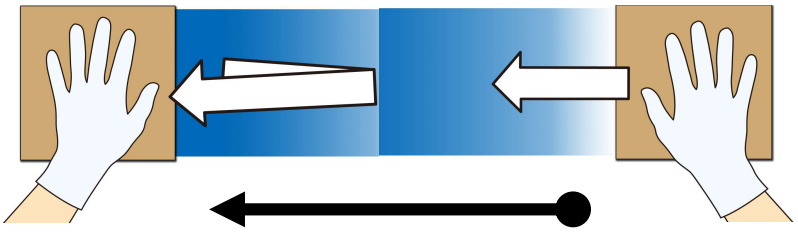


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

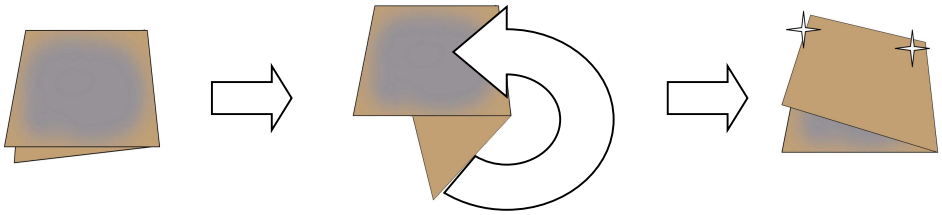
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。